

結しながらアメリカの傘のもとで経済的繁栄を享受してきたと。ところが冷戦構造が崩壊した今は、その日米安保条約の意義ということについてはやはり改めて議論が必要なのではないかと。ただし、やはり今の日本の自衛隊も、ロシアとか、あるいは中国に対しての脅威という形で今の自衛隊の配置はあるのではないかなと思ってます。

これがいいのか悪いのかは私は今の段階では判断できませんが、そういった中で基地の問題でございしますが、これは沖縄だけではなくて、今言ったことからすれば日本全体としてどうするかということをやはり継続、沖縄にあるのはまず当面しようがないんだということにしないで、きちんと議論をしながら最終的に国民的な合意がどこで得られるか、そういったところを模索していく必要があるというふうに思っております。

非常に抽象的な言い方で恐縮なんですけど、ですからそういった意味では、今回の民主党の普天間基地の問題というのはいいきっかけだと思いますので、そういった議論しながら日本の将来のこれからの防衛とか、あるいは安保をどうするかと、軍事力をどういうふうに保持すべきかというところを議論しながら新しい方針を決めていくべきだと思っております。以上です。

○**渋谷佐輔委員長** 以上で通告による総括質疑は終わりました。

これより各会計補正予算案の細部審査に入ります。

なお、質疑に当たっては、答弁者並びにページ数をお示しの上、お願いいたします。

### 議案第53号 平成22年度長井市 一般会計補正予算第3号についての 質疑

○**渋谷佐輔委員長** まず、議案第53号 平成22年度長井市一般会計補正予算第3号の1件について、ご質疑ございませんか。

4番、大道寺 信委員。

○**4番 大道寺 信委員** ページ数でいきますと8ページの民生費、3款1項3目老人福祉費の高齢者就業機会拡大支援事業ということで96万円で上がっていると思っておりますけれども、これについてお聞きをしたいと思っております。厚生常任委員会に出されました協議の資料に目的とか内容書いてありますけれども、高齢者就業機会拡大支援事業というふうにありますして、職業安定局で実施してる高年齢者就業機会確保事業と整合してると、したがってシルバー人材センターに委託すると、こうなっております。この事業というのは恐らく独自事業だと思いますが、長井市の。歳入の方には多分特別にどこかから交付金出るとかってなってますから、独自財源、一般財源でということだと思いますが、一般財源に、私は3月の定例会、3月予算審議、当初の予算で本来は計上されるべきものではないかというふうに思いますが、この職業安定局で言ってる高年齢者就業機会確保事業というのがどういうものであって、先ほど申し上げましたように一般財源ということで今回計上してるのではないかということの件について、福祉事務所長にお伺いしたいと思います。

○**渋谷佐輔委員長** 小泉良一福祉事務所長。

○**小泉良一福祉事務所長** お答えをいたしたいと思います。

3月の定例会に上げるべきでないかというふうなことでございましたが、今回のシルバー人材センターの就業の状況が大変落ち込んでいるというふうなことから要望が4月の30日に出まして、そのことで急遽取り組んだところでございました。

それから、ちょっとお時間をいただいてよろ

しいでしょうか。

○**渋谷佐輔委員長** はい。

暫時休憩します。

午後 1時26分 休憩

午後 1時27分 再開

○**渋谷佐輔委員長** 再開します。

小泉良一福祉事務所長。

○**小泉良一福祉事務所長** シルバー人材センターからの要望におこたえをするというふうなことでございまして、計上したものでございます。

○**渋谷佐輔委員長** 4番、大道寺 信委員。

○**4番 大道寺 信委員** 質問したのは、高齢者就業機会確保事業という厚生労働省職業安定局で実施してるといのは具体的にどういうことなんでしょうかというふうに質問してるんで、シルバー人材センターから要望があったからしたとかいうことじゃないと思いますが、まあいいです、それは、じゃあ。

それでね、恐らく、もう一つ質問したのは独自財源ですよと、一般財源ですね、長井市のね。それはわかりましたんで、委託はシルバー人材センターにやって就業機会確保担当員を配置しということになっておりまして、事業に関する経費が96万円のうち人件費が90万5,000円と、こういうふうになってます、資料で。シルバー人材から非常に仕事が少なくなったから、要望があったからということなんだけでも、これでいきますと、就業機会確保担当員を配置しとなっていますけれども、これによって新たな人を雇ってやるということになるんでしょうか、それについてお聞かせをいただきたいと思います。

○**渋谷佐輔委員長** 小泉良一福祉事務所長。

○**小泉良一福祉事務所長** お答えをいたします。

新たな人を雇うということではございません。

○**渋谷佐輔委員長** 4番、大道寺 信委員。

○**4番 大道寺 信委員** ということは、内部で工夫しながらこの仕事を、いわゆる雇用機会を発掘するためにやっていくんだと、この目的達成のためにその人やっていくんだと、こういうことになりますよね。

ひっかかるのは、シルバー人材から要求あった、仕事がなくなったからといくと、これ逆に言うと、大変だから補助という格好で出せないからというようなことでこの委託料として上げるのだと、こういう意味にとられませんかと、そういう意味しか考えられないような気がするんですけども、これ、じゃあ市長にお伺いしたいと思います。

○**渋谷佐輔委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

シルバー人材センターの方で、こういった不況の状況もあって随分仕事の量が減ってまいりました。福祉事務所長から申し上げたのは、仕事が減ったので何とかふやすような取り組みと  
+  
いいですかね、そういったことをちょっと協議しまして、もう少し独自に自分たちで雇用もふやすような可能性を他のシルバー人材センター等の経営の状況なども勉強しながらやってみようということで、基本的には7月から新たな人を手だてしながら、その可能性、あるいは仕事をふやすための検討ということでございまして、福祉事務所長が申し上げたのはちょっと勘違いしたのかなと。基本的には新たな人を手だてして、7月から来年の3月までですか、その人件費と、あと視察の県内のシルバー人材センターということでございます。

これについては、実はシルバー人材センター側からいろいろ相談ありまして、これから公益法人として法人改革の中で存続をするためには、できるだけ市町村の方と連携を密にしながらやっていかなきゃいけないということが一つと、

あと、ただ仕事を待ってるだけではなかなか受注が広がらないと。あと、一方でシルバー人材センターとして高齢者がどんどんふえていく中で、もう少し、機能とといいますか、仕事の幅を広げるような、そんなことも検討したいと。ただ、今の少人数、最低限の人数では対応できないので何かお手伝いしていただけないかというような要望があつて、今回単独でございますが、こんなことで支援をしたいということで計上させていただいたものでございます。

○**渋谷佐輔委員長** ほかにございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○**渋谷佐輔委員長** ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

#### 議案第54号 平成22年度長井市 農業集落排水事業特別会計補正予算 第1号についての質疑

+

○**渋谷佐輔委員長** 次に、議案第54号 平成22年度長井市農業集落排水事業特別会計補正予算第1号の1件について、ご質疑ございませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○**渋谷佐輔委員長** 質疑もないので、質疑を終結いたします。  
以上で各会計補正予算案に対する質疑は全部終了いたしました。

#### 平成22年度長井市各会計補正予算 案の表決

○**渋谷佐輔委員長** これより各会計補正予算案に対する討論、表決であります。ご意見のある方は本会議にてご発言いただくこととし、この

際、討論を省略し、直ちに採決を行います。

まず、議案第53号 平成22年度長井市一般会計補正予算第3号の1件について、採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。

（起立全員）

○**渋谷佐輔委員長** 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第54号 平成22年度長井市農業集落排水事業特別会計補正予算第1号の1件について、採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。

（起立全員）

○**渋谷佐輔委員長** 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で本予算特別委員会に付託になりました案件の審査は全部終了いたしました。

最後にお諮りいたします。本委員会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第102条の規定により、その整理を委員長に一任願いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○**渋谷佐輔委員長** ご異議なしと認めます。よって、整理を要するものについては、その整理を委員長に一任することに決定いたしました。

また、来る25日の本会議における本委員会審査報告の文案につきましても、私に一任くださるようお願いいたします。

閉 会

+

○**渋谷佐輔委員長** 予算特別委員会はこれをもって

て閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

午後 1時34分 閉会

会議録署名

臨時委員長 鈴木 武 次

委員長 渋谷 佐 輔

+